

日 程 表

1 法律・消費者被害		7月28日（金） 受付 9:40～ / ガイダンス 9:55～ 【定員20名】 場所：かながわ県民センター13階 消費生活課研修室	
時間	テーマ	講師	内容
10:00 ～ 12:00	「契約」や「若者に多い悪質商法」について	公益財団法人消費者教育支援センター	成年年齢引下げを踏まえて注意しておきたい「若者の悪質商法のトラブル事例」とともに、トラブルの原因や対応策について学びます。また、「契約」の基本や消費者を守る法律、消費生活センターの役割について理解を深めます。
13:30 ～ 15:30	消費者教育教材を活用した授業法	生活経済ジャーナリスト・ 文部科学省消費者教育アドバイザー あんびる えつこ 氏	授業等の学校現場で活用できるよう、県消費生活課が作成している中学生向け教材「STEP UP」及び高校生向け教材「JUMP UP」を用いて、アクティブラーニングの手法を学びます。

2 環境		7月31日（月） 受付 10:10～ / ガイダンス 10:25～ 【定員20名】 場所：かながわ県民センター13階 消費生活課研修室	
時間	テーマ	講師	内容
10:30 ～ 12:00	「エネルギー」と「環境」	東京ガスネットワーク株式会社	地球温暖化に直結する「エネルギー」が持つ特性や課題を学び、そのエネルギーがどこから来るのか確認します。そして、地球環境を守るために自分たちができることとして、エコ・クッキングを通じ、新たな気付きや発見をすることで理解を深めます。
13:30 ～ 15:30	民間企業による生物多様性保全の取組	積水ハウス株式会社	積水ハウス株式会社は、持続可能な社会を目指し、未来の担い手でもある子どもたちへの環境教育にも貢献してきました。同社が長年取り組んできた環境への取組の中でも学校教育とも関連の深い、生物多様性保全に関する取組「5本の樹」計画を知ることによって、環境教育についての理解を深めます。

3 食の安全・安心		8月2日(水) 受付 9:10～ / ガイダンス 9:25～ 【定員20名】 場所：AM かながわ県民センター13階 消費生活課研修室 PM 森永製菓株式会社 鶴見工場 ※移動は各自でお願いします。開始時刻5分前までに見学場所までお越しください。	
時間	テーマ	講師等	内容
9:30 ～ 11:30	食品表示の現状と課題	一般社団法人Food Communication Compass	消費者庁のもと、2015年に食品表示法が施行されました。栄養成分表示が義務化され、その後も原料原産地表示が改正されるなど見直しが行われている一方で、わかりやすい表示の検討・消費者啓発も課題です。現状と今後について学びます。
13:00 ～ 14:30	企業での食の安全・安心の取組み(工場見学)	森永製菓株式会社	「森永エンゼルミュージアム モリウム」及び「鶴見工場」の見学を通じて、森永製菓株式会社の歴史や製造工程等を知り、食の安全・安心への理解を深めます。 ※工場内の新型コロナウイルス感染拡大防止に関する取組み及び来場者へのお願いについては、森永製菓株式会社のホームページをご確認ください。 https://www.morinaga.co.jp/factory/safety/

4 金融①		8月4日(金) 受付 10:10～ / ガイダンス 10:25～ 【定員20名】 場所：かながわ県民センター13階 消費生活課研修室	
時間	テーマ	講師	内容
10:30 ～ 12:00	今、なぜ金融経済教育が必要なのか	野村ホールディングス株式会社	高校家庭科の学習指導要領改訂や成年年齢下げの影響について学び、学校での出張授業の実例の紹介等を通じて、金融経済教育についての理解を深めます。
13:30 ～ 15:00	授業で使える「金融・経済教育プログラム」体験ワークショップ(仮)	一般社団法人全国銀行協会	金融経済教育を巡る動きを確認したうえで、教材体験を行い授業で活用できるよう理解を深めます。

5 情報／製品安全		8月8日(火) 受付 9:40～ / ガイダンス 9:55～ 【定員20名】 場所：かながわ県民センター13階 消費生活課研修室	
時間	テーマ	講師	内容
10:00 ～ 12:00	情報セキュリティ通になる近道、伝授します	独立行政法人情報処理推進機構(IPA)	先生が児童・生徒に指導する際に必要になるであろう、基本的なセキュリティ知識を分かりやすく伝授します。 「なぜ対策が必要なのか」その理由に迫ります。
13:30 ～ 15:30	学校、家庭での安全な製品の使い方	独立行政法人製品評価技術基盤機構(NITE)	身近に起こる製品事故事例から、製品の正しい取扱方法や注意点について考察します。

6 消費者市民社会		8月24日(木) 受付 9:40~ / ガイダンス 9:55~ 【定員20名】 場所: かながわ県民センター13階 消費生活課研修室	
時間	テーマ	講師	内容
10:00 ~ 12:00	ファンケル 神奈川SDGs講座 特別講座	株式会社ファンケル	ファンケルは、2021年から小・中・高校を対象にした「ファンケル 神奈川SDGs講座」を開始し、ファンケルのサステナビリティ重点課題(環境・健やかな暮らし(栄養)・地域社会と従業員)をテーマに、取組を紹介しながら子どもたちへSDGsの大切さを伝えています。 今回は、「健やかな暮らし(栄養)」をテーマに、食品ロス問題、若者の栄養課題について、実際に学生向けに行っている講義内容を実施します。講義を通して、持続可能な社会づくりについて理解を深めます。
13:30 ~ 15:30	身近な商品から持続可能な社会を考える	認定NPO法人開発教育協会(DEAR)	身近な商品を題材に、私たちの生活は世界の多くの人々とつながっていることを知り、SDGsの達成のための持続可能な社会づくりについて、ワークショップを通じて考察します。

7 金融②		8月25日(金) 受付 9:40~ / ガイダンス 9:55~ 【定員20名】 場所: かながわ県民センター13階 消費生活課研修室	
時間	テーマ	講師	内容
10:00 ~ 12:00	クレジットについての知識を深める	一般社団法人日本クレジット協会	クレジット業界団体ならではの視点で、キャッシュレス決済の概要からクレジットについての最新動向や、三者間契約・リボ払いなどについて解説します。 また、生徒へ教える際のポイントとして、実生活におけるクレジットの正しい利用方法について知識を深めます。
13:30 ~ 15:30	いまだからこそ先生に知ってほしい 金融教育の大切さ	一般社団法人日本金融教育推進協会	なぜ金融教育が学校教育として必要なのか、生徒に教えるときのスタンス、生徒にお金に関する知識を伝える際のポイント、参加者がお金の知識を自分で学べるツールなどを、講義を通して学びます。